

妙智會

7月28日本部供養会
本殿大講堂（ライブ配信）
宮本法嗣先生ご指導Vol. 137
2024. 8. 7
1/2

本日は暑い中お集まりをいただきまして誠にありがとうございます。

いよいよオリンピックが始まりました。オリンピックは4年に一度開催します。前は東京で行われましたけども、ありがとうインターナショナル主催の第1回フォーラムは閏（うるう）年でした。大導師さまはオリンピックがお好きで、フォーラムも「2回、3回はオリンピックに合わせてくれ」とおっしゃっておいりました。閏年にあたる今年にフォーラムを行うというこのご順序には非常に深い意味があります。お陰様で今回のフォーラムは、ちょうどオリンピックの年、閏年に開催することになりました。

今日は西田無学先生のお話をさせていただきます。入会して年月の経っている方は会主さま、大導師さまから聞いたことがあるかと思いますが、妙智會の元である霊友会の久保先生が西田先生の教えをいただいたと言われております。妙智會が生院徳の法名を全ての先祖におつけして供養する修行を一番初めに教えてくださったのです。西田先生は、先祖供養するのはお寺だけではない。自分の先祖なのだから毎日自分で供養をするべきだとお考えになりました。

尊い妙智の教え、会主さまの教えをいただいているのはご両親やおじいちゃんおばあちゃんのお陰です。感謝しなければいけない。導かれたら、導きの親に感謝しなければいけない。「原点に戻る」ことがとても大事です。フォーラムも閏年に戻ったということは、原点に戻ったわけなのです。

そして、生まれた家も大事です。生まれたところが原点です。

病院は原点ではありません。そのときの親のいる場所が皆さんの原点です。生まれたところが、どこの何番地かわかれば、それを頭にインプットして朝お経を上げるとすごくいいです。生まれた場所が地方ならば、その場所をきちんと調べて、その住所を思い出しながらお経を上げると生まれた地面の原点の因縁が変わるのです。もし生まれたところがダムになっていたら、ダムの前の住所がわかればきちんと供養した方がいいです。会主さまがおっしゃっていた、地面が変わるとそこにいる人が変わりますから。まず、体に出ます。良いことも悪いことも地面からの因縁は足からきます。

また私たちが亡くなったときに原点になるお墓。お墓参りをし、綺麗にしてください。自分の生まれたときの地面とご先祖が入っている地面、原点を忘れてはだめ。7、8月はお盆ですからぜひ行ってください。

今日私が申し上げたかったのは、原点は大事だということです。私たちは生まれたときから親も含め、もちろん先祖も含め、今日まで出会った方たちのお陰様です。とくにこの教えの中で出会った方たちとは縁がすごく深いんだと会主さまがおっしゃっていました。生まれたときの地面、ご先祖が先に入っているお墓の地面は大事です。亡くなって四十九日過ぎてお墓が見つからないのは亡くなった方にとって原点が見つかっていません。しっかりお経を上げていくと縁のあるお墓が見つかります。ぜひ念願してください。